

事業所名 アシスト・ケア（宝ヶ丘）（第17回）

運 営 推 進 会 議 開 催 報 告 書

開催日時 令6年9月19日(木) 14時15分～14：45分		
参 加 者		議 題
利用者	1 名	①前回の運営推進会議の振り返り②事業所の特色③利用者の構成④職員資質向上の取組み⑤苦情、事故、ヒヤリハットの事例⑥事業所で内外での活動⑦ボランティアとの連携⑧避難訓練⑨地域から課題や要望⑩その他
利用者家族	0 名	
地域住民の代表者	1 名	
市職員	1 名	
地域包括支援センター職員	1 名	
事業所	2 名	
会 議 録		
1 16回（3月）運営推進会議の振り返り 無し		
2 事業所の特色 半日の運動特化型デイサービス。マシン・マッサージ・集団運動・歩行訓練を行う事で、高齢者でも無理のない筋力維持をすることが出来ます。 ・マシン運動は、日常生活動作（歩く・立ち上がる・座る・物を採る）を模したものです。立ったり座ったり、物を取る時の動作、浴槽を跨ぐための反復動作をすることで日常生活がスムーズに行えることを目的にしています。 マシンを使用して入浴時の浴槽を跨ぐ開脚運動や、棒を使用して開脚運動を行っています。 ・歩行訓練、ウォーキングマシン、足首回し、自転車漕ぎについては個々に、回数、時間の目標を設定して利用者さんの意欲を引き出し、運動の機会を増やす取り組みをしています。		
3 利用者の構成及び活動状況 利用者数約 100 名 男女比3対7 平均介護度1 平均利用者 日/15名 週に2回程度のご利用の方が多いです。		
4 職員資質向上の取組み ・外部研修、研修費用を一部会社負担にて受講 ・介護福祉士合格に向けて2段階の費用補助 ・介護予防教室（バランスボール）の運動に参加することで、参加者側の気持		

ちを感じ、指導方法を学んでいます。

- ・3か月毎の定期的な社内ミーティングによる情報共有や移乗等の勉強会（BCP・感染症対策・虐待防止の研修）

5 苦情、事故、ヒヤリハットの事例

- ・自宅に送ったが鍵の電池が切れていて、中に入れず。→自宅玄関の中まで案内徹底。
- ・フロアで、認知症の方がいつもより不穏で騒いだことがあった→経験のある職員が対応。
- ・集団体操時の転倒→必要に応じた声掛け対応
- ・車両物損事故→安全確認の徹底

6 事業所内外での活動

- ・障害者福祉施設よりパンの販売に来て貰い、希望者のみ購入。
- ・移動スーパー「はじまる」にて商品の販売

7 ボランティアとの連携

- ・無し

8 避難訓練 9月・3月

「北側出入口より火事」の想定：南側非常口より自立歩行の方を優先的に誘導。歩行不安定な方は、南側入り口より誘導。

前回の課題として、誰を優先するのか検討した結果、自立度の高い方から優先して誘導したところスムーズにできた。

9 地域から課題や要望

利用者より

- ・足腰が不安で歩行不安定で有ったが、定期的な運動に参加することでしっかりと歩けるようになった。
- ・コロナ過で他者と交流する機会が少なかったが、定期的な社会参加が出来て楽しい時間を過ごせた。

10 その他